



南小だより

E-mail kogenminami@ac.city.myoko.niigata.jp

〈教育目標〉

進んで学ぶ子
思いやりのある子
最後までやりぬく子

〒949-2112 妙高市関川1592

TEL: 0255-86-2104

FAX: 0255-86-3212

文武両道を伝えよう

校長 渡辺 伸一

信越学童スキー大会が終わった当日の夕刻、反省会の最後に教頭が「高原南小は文武両道を合言葉にがんばっています。南小の皆さん文武両道の意味は分かりますか」と子どもたちに尋ねました。その時の子どもたちの反応が小さかったので私は『えっ！？』と驚きました。

昨年のNHKの大河ドラマ『真田丸』ゆかりの真田宝物館は、隣県の長野市松代町にあります。越後信濃の国境の高原南小からはそう遠くないので見学に行かれた方もいると思います。その真田宝物館のすぐ隣に『文武学校』があります。松代の『文武学校』は、今から162年前の1855年に開校しました。松代藩の八代藩主が水戸の弘道館になって計画し、九代藩主の時代に完成した松代藩の藩校です。学問と武道を学ぶ場として、教室にあたる文学所、武術を学ぶ剣術所などが配置されています。時間割は医学、小笠原流礼法、西洋の軍学なども組み込まれていたそうです。当時としては先進的な教育が行われ、近代的な学校の先駆けであったことがうかがえます。“国づくりは人づくり”と言われます。どの時代でも“人づくりは未来への希望”なのだと思えます。と改めて考えさせられます。ところで数えてみると高原南小は創立144年です。『文武学校』とたった18年しか変わらない歴史がある学校なのです。

私たちの高原南小では、“進んで学ぶ子 思いやりのある子 最後までやりぬく子”を教育目標に掲げ目標達成目指して日々を積み重ねています。『文』は進んで学ぶことを、『武』は最後までやりぬくことと通じています。そして、『両道』には、文武を求める過程で思いやりのある子に育ててほしいという願いも込められています。

文武両道は、子どもたちには少し難しい言葉かもしれませんが、学校でも指導し伝えていきますが、ご家庭でも話題にしていただければ幸いです。



新潟県児童生徒徒絵画・版画コンクール

特別賞(村山賞) 4年生作品

『きめろ!!シュート』

信越学童親善スキー大会を振り返って

2月17日に信越学童親善スキー大会がありました。雨が降るあいにくの天候でしたが、コーチや保護者のご支援、ご協力があり、子どもたちは精一杯がんばりました。開会式ではクロカン部部長の立派な選手宣誓がありました。下に選手宣誓と各部の代表2名の感想を紹介します。



第64回信越学童親善スキー大会開会式での力強い選手宣誓

宣誓
我々選手一同は、この冬空の下、今日のために一生懸命準備や練習に励んできました。今日は、私たちを日ごろ支えてくださる先生方やコーチのみなさん、保護者の方々、それから学校で出会ったかけがえのない友達に感謝の気持ちを込め、全力で競技に臨みます。そして、歴史あるこの大会ですべることができると、数々のアスリートがたくさん生まれているこの地『妙高』でクロスカントリースキーをできることを幸せに思い、スポーツマンシップにのっとり、正々堂々最後まで走り抜くことを誓います。

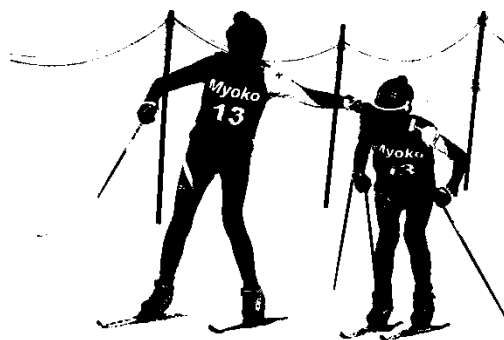
アルペン部 6年生

私がこの大会で努力したことは、当日はかなり緊張していたけど練習でやったことを信じてすべったことです。しっかり集中してすべったので5位になれました。最後の年で良い結果を残せて良かったです。



クロカン部 6年生

私がこの大会でがんばった事はリレーです。なぜかというと2走の美幸さんに1位でタッチしたかったし、1位をとりたかったからです。個人では2位で少しくやしかったけど6年間で最高の思い出になりました。



学校、家庭、地域が一つにまとまってこの大会を目標にがんばってきました。終わってみて子どもたちのがんばる姿に大きな感動を味わうことができました。関係した皆様に心から敬意を表し感謝申し上げます。「ありがとうございました」

NRT 学力検査から

1月末に実施したNRT学力検査の結果が学校に届きました。すべての学年で平均を上回ることができました。今後、細かく分析し、個別指導や授業改善に生かしていきたいと考えています。更なる向上を求め、ご家庭では学習習慣の形成をお願いします。